

手術を受ける方へ

手術を行った後、以下のような症状が出る事があります。

- 粘膜、顎、頬などが腫れる可能性があります。
- 強い痛みがしばらくの間、出ることがあります。
- 抜歯の場合、手術三日後くらいから強く痛み始めることがあります。
- 頬の皮膚が黄色から紫色になることがあります。これは術後の内出血によるもので、しばらくすると自然に消退します。
- 周囲の歯が手術直後に痛んだり、ゆれたり、しんだりすることがあります。しばらくすると、おおむね消退していきます。
- 下の奥歯の部分の手術の場合、まれに歯肉や唇や舌に知覚鈍麻や感覚異常が生じることがあります。これは、奥歯の部分の下顎骨内に太い神経があり、そこに手術による刺激が加わることで起きるものです。多くの場合は短期間で消退していきますが、まれに長期に渡って異常が残る場合もあります。
- 抜歯の場合、歯と骨が強固に癒着していて抜去できない場合があります。この場合には、途中で一回創を閉じて2～3ヶ月後に再抜歯を行います(『二回法』というやり方です)。2～3ヶ月経過すると、歯の移動や周囲の炎症による骨の減少により、抜歯がしやすくなっています。
- その他 _____

平成 年 月 日

担当医 _____

(切り取らないで、下欄に記名の上、次回来院時にご持参下さい)

承諾書

上記の説明を受けて、今回の手術に同意します。

平成 年 月 日

患者氏名 _____

(コピーを患者さんにお渡します)

